

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	龍馬伝推進事業		部課コード	1503	予算事業科目	010701060196	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	商工観光部	部長名(2次評価者)	古味 勉		010701060196	-			
	担当部署	観光振興課	所属長名(1次評価者)	山川 瑞代			-			
	電話番号	088-823-9457	E-mail	kc-150300@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	01 A新しい価値を創造発信する都市	政策基本方針	個性ある観光資源を情報発信するとともに、県城市町村との連携による魅力ある観光資源の創出や、集客力のある観光・コンベンション機能の強化を図ります。
款	07 商工費	政策	03 出会いと発見を育む観光・コンベンションの振興		
項	01 商工費	施策	01 新しい観光魅力の創造		
目	06 観光振興費	区分	02 イメージアップ土佐・観光誘致事業		

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市観光協会観光振興事業費等補助金交付要綱	
その他(計画、覚書等)	(市計画)高知市総合計画2001基本計画(新しい魅力発見の創造/体験・滞在型観光の創出と推進)	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	県外観光客		
意図	どのような状態にしていくのか	観光客の誘致を図る。		
手段	事業実施体制等	大河ドラマ「龍馬伝」効果を活かして、龍馬の故郷・高知を全国に発信し、観光客の誘致を図る。	事業開始年度	平成21年度
			事業終了年度	-
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●「龍馬伝」放送にあわせ、高知市内の関連施設や史跡を発掘し、それらを繋げたまち歩きコースの設定及びコースマップを作成する。 ●「龍馬伝サミット」の実施。 ●観光案内板や八畳岩上り口整備、龍馬の生まれたまち記念館のロードサインの設置。 ●龍馬関連市町村との連携強化、観光宣伝PRを図る。 ●土佐・龍馬であい博推進協議会の実施する事業への負担金の支出。 		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	県外観光客の入り込み数	高知市単独での推計を行っていないため、高知県への県外観光客入り込み数の75%を指標とするもの	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	県外観光客の入り込み数	目標				(入り込み数平成22年度3,000千人を目標)	
		実績	2,286千人	2,288千人	2,367千人			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)			126,605	24,000		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	0	0	126,605		24,000
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	0	22,500	22,500		
		正規職員 (千円)	0	0	22,500	22,500		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)			3.00	3.00		
		正規職員 (人)			3.00	3.00		
		その他 (人)						
	総コスト= ① + ② (千円)		0	0	149,105	46,500		
市民1人当たりコスト (円)		0	0	439		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

●2010年大河ドラマ「龍馬伝」を高知への観光客誘致の絶好の機会と捉え積極的に施策展開を行うほか、一過性のものに終わらせまい、同時に高知の持つ魅力を発掘・ブラッシュアップし観光客誘致につなげていかなければならない。
 ●また、長期的な視点に立ち、観光振興施策が市民に受け入れられ、観光関係者のみならず、市民が愛着を持ち口コミで宣伝したくなるような取組みを展開継続していく必要がある。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は観光振興・観光客誘致の拡大を目指すためには欠かすことのできない事業であり、本市の総合計画に掲げる「新しい観光魅力の創造／宣伝誘致活動の推進」に合致している
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	新型インフルエンザや全国的な景気低迷の中、観光客数は微増となった。平成21年度は大河ドラマ「龍馬伝」の放送が決定し、これを契機として龍馬のふるさと高知への観光客の誘致を図るため、土佐・龍馬であい博推進協議会と連携し、受け入れ態勢の充実や新たな魅力の創出を行い、観光客誘致を図るなどしたことが観光客誘致に効果的であったと考えられる。しかし、高知市の県外における認知度は、まだまだ低く、観光客誘致のためには、さらに観光資源の発掘・ブラッシュアップを行い、継続して情報発信をする必要がある。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	観光客誘致のための事業は、民間活力の利用無しではなしえず、行政・事業者・団体等が役割分担もしながら連携協力して事業を実施している。また、行政間においても龍馬関連都市と協力して情報発信を行った。案内板等の環境整備においても効率的な方法を検討採用しコスト削減にもつながっている。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	観光客増に伴う経済波及効果は大きく多方面に好影響をもたらす。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合 評価	17.0	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 30 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	観光振興による地域経済活性化を図るため機会を逃さずタイムリーなイベントを開催することは観光客誘致に大きな効果があり、今後も県とも連携して事業を推進する。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--